

「小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の『つなぎ役』」



昨年、民生委員制度は創設 100 周年を迎えました。
これからも、民生委員・児童委員活動へのご理解とご支援をお願いいたします。

民生委員児童委員協議会 会長・副会長研修に参加して



富岡町の民生委員の皆さんとの交流はかけがえのない経験となりました

平戸地区民生委員児童委員協議会会長 林 一郎

平成 29 年 11 月 21 日(火)・22 日(水)の二日間、視察研修を福島県富岡町で実施し、35 名の委員が参加しました。富岡町は、太平洋と阿武隈山地との間に広がる福島県浜通り地方の中央に位置します。震災前の人口は 1 万 6 千人だったそうですが、震災による死亡者は 24 人、原子力災害により全町民が長期の避難を余儀なくされました。そして、平成 29 年 4 月によろやく町内の一部を除いて避難指示が解除されたとのことでした。

はじめに、富岡町の民生委員の皆さんに、震災当時から現在までの状況について語っていただいた後で意見交換を行いました。富岡町民としてのご苦労に加え、民生委員ならではの様々な経験は、報道などで見聞きしていた私たちの想像をはるかに超えるものでした。

意見交換の後は、NPO 法人で『震災の語り部』として活動する方に町を案内していただきました。駅舎が新設されるなど、一見開発が進んでいるようにも見えますが、町に人影は少なく、震災時の家屋が手つかずの状態に残されているなど、復興への道のりは本当に厳しいものであると思わされます。

翌日はいわき市で営業を再開した久之浜商店街と防災交流センターを視察しました。防災交流センターは指定緊急避難場所となっており、24 時間いつでも避難のために入館できる構造になっています。

しかし、久之浜駅周辺の宅地造成地区は買い手がなかなかおらず、まだ町民の皆さんが戻って来られる状況ではないとも伺いました。

災害は発災から 72 時間が勝負と言われています。私たち一人ひとりが日頃から水や食料、非常時の持出し袋などを備えておくことはとても大切です。

同時に、地域住民の協力が減災に大きな役割を担ったというお話を聞いて、自治会などで行われている防災訓練のあり方などについても深く考えさせられました。

この経験を、今後の民生委員活動に生かしていきたいと思えます。



沿岸部の造成地でも、更地ばかりが目立ちました

編集後記

東日本大震災から 6 年がたちました。時がたつにつれ、瓦礫は撤去され、人々が前を向き再び立ち上がる姿を映すニュースが増えました。また、2020 年の東京オリンピックを復興五輪と言うなど、何かしら『復興』という言葉が目に入ってきます。

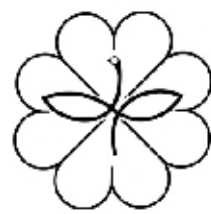
でも、その一方で、被災された方々は物心共に今でも大変な困難を抱えていること、故郷をやむをえず離れた人たちが様々な理由で帰りたくても戻れない、それも現実です。

まだまだ大変な思いをし続けている人々がいることを、これから先も忘れないでいたいと思います。

そして、民生委員として、自分たちも同じことが起きた時に何ができるか、どうすべきか、被災された方々に気持ちを寄せながら、考えていきたいと思っています。

【編集委員】門井富士夫、飯高昌子、郷原真理子、林 一郎、中田美記子、手塚睦子

【発行責任者】露木光夫 【事務局】戸塚区福祉保健課 ☎ 8 6 6 - 8 4 1 8



民生委員・児童委員
のシンボルマーク

のばそう愛の手

戸塚区民生委員児童委員協議会

第 27 号
H30.3.20 発行



戸塚区のマスコット
ウサギ

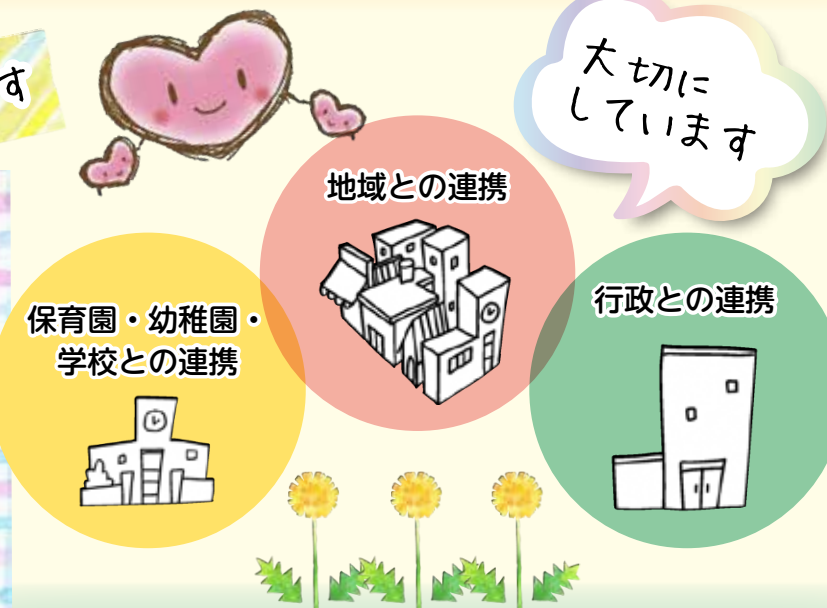
こんにちは♥主任児童委員です♥♥



民生委員児童委員の中で、主に児童福祉に関することを専門に担当するのが「主任児童委員」です。皆さんと同じ地域住民の立場から、生活や福祉に関する悩みごとの相談・援助を行っている地域ボランティアです。私たちは、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるよう、子ども・子育てに関する悩みに皆さんの立場で相談に応じ、必要な制度やサービスの紹介、関連機関につなげる役割を担っています。

こんな活動をしています

- 「地域子育て支援サークル」の主催
- 学校の先生や PTA の方々との交流
- 学校の入学式・卒業式・地区懇談会への出席
- 児童相談所等の施設見学
- 教育関係の方による勉強会
- 児童虐待の早期発見に向けた見守りや啓発(オレンジリボン活動)
- 「とつとの芽」の見学と手作りおもちゃの作成 など(中面の記事もご覧ください)



子育ての悩み、一人で抱えていませんか？



皆さんの地区の主任児童委員まで、
お気軽にご連絡ください。



今回のサークルで使おうかしら... (*^_^*)



◆地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

川上地区

みんなが元気になれるまちづくり

川上地区は前田町と秋葉町を中心に活動を行っています。

昔からある住宅地の中に新しいマンションが建設され、若い世帯も増えている地区です。

高齢者の皆さんに向けた活動としては、『若葉会』という昭和61年から続くお食事会があります。75歳以上のひとり暮らしの皆さんをお呼びして、季節感を大切にした手料理をいただきながら、歌や手品などを楽しみ、情報交換や親睦を深める場になっています。

就園前の親子の皆さんに向けては、平成8年から続く『ぶらんこ』という子育て支援サークルがあります。主任児童委員が中心となって工作や読み聞かせを行い、友だちづくりの場としても親しまれています。また、高齢者のふれあいサロン『ひまわり』に参加する皆さんと『ぶらんこ』の参加者との多世代交流なども行っています。

ほかにも、『リハビリサロン前田』では、中途障害者の皆さんの手や頭を使ったりハビリと外出の機会を増やすことなどを目的として、健康麻雀を地域の皆さんと楽しんでいます。



楽しいふれあいの中で、笑顔が広がっていきます

私たちも、会場の運営や食事の用意の他に、時には麻雀に参加するなど楽しみながら活動を行っています。

このように、地域の皆さんが顔見知りになることで、多くの繋がりが生まれています。

「みんなが元気になれるまちづくり」のために、これからも活動を続けていきたいと思っています。

川上地区会長 山本 勇



「美味しい手料理とイベントが楽しみ」と喜ばれています

◆地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

柏尾地区

昨年50回目を迎えた『お楽しみ会』

柏尾地区会長 齋藤 節子

『お楽しみ会』は高齢者の皆さんが楽しめる場で、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）が策定された平成18年から四季折々に趣向を凝らしたイベントを実施しています。

4月 毎年大人気の“フラワーアレンジメント”
 昨年は69名もの参加者で会場はいっぱい！先生のアドバイスを受けながら真剣に取り組めます。



皆、華道の大家となりました

6月 講演会「高齢者の消費者被害」
 楽しいクイズや寸劇で消費者被害から身を守る方法を学びました。
 ①留守電の設定 ②きっぱり断る ③行動の前に相談することが身を守るそうです。

10月 秋季レクリエーション大会
 「走ってはいけない」ルールで6種類の競技を行います。最後の仮装パーティーまで終始笑い声が絶えませんでした。

12月 クリスマス会
 クリスマスソングメドレーを歌ったり、ビンゴゲームや脳を活性化させるボール回しゲームなどで、時間を忘れるほど楽しみました。



仮装パーティーでは“美女づくり”で最後まで大盛り上がりでした

このほか、軽い運動をしたり歌詞カードを見ながら生伴奏で歌ったりと、お茶やお菓子とともに楽しいひとときを過ごします。

毎回約40名の皆さんにご参加いただき、「ここに来ると知り合いに会えて嬉しい」「元気になる」などと言ってくれる事が活動の励みですが、私たちも一緒に楽しませていただいている思いでもあります。

会場まで歩くことが難しい方には地域の方が送迎もして下さるので、皆さんに大変喜ばれています。

これからもたくさんの方にご参加いただけたら嬉しく思います。



ピカソも驚く傑作に一同大笑いだった “福笑い”

主任児童委員連絡会の活動紹介

遊び講座@とつとの芽

東戸塚地区主任児童委員 松田 寿子



身体を使って木を表現し、歌に合わせてゆらゆらと動かします一手游び歌

主任児童委員連絡会では、より良い子育て支援を行うための研修会を実施していますが、毎年、地域子育て支援拠点『とつとの芽』でも「遊びの講座」を開いていただいています。

今年は、①覚えやすい手遊び歌 ②絵本の読み聞かせのポイント ③手作りおもちゃについて教えていただきました。

「手遊び歌」はたくさんありますが、なかなか覚えられないのが悩みです。今回は、『木が折れる』という手遊び歌を教えてくださいました。全身を使った大きな動きと短いフレーズ、それに覚えやすい振り付けで

子どもたちにも人気が出そうです。

「読み聞かせのポイント」では、絵本にはサイズも素材も色々ありますが、読む場面や季節を考え、遠くからでもよく見える色鮮やかなものを選ぶと良いと教えていただきました。新作絵本がたくさん出ている中でも、古くから読み伝えられているものは、やはり素晴らしい作品が多いのだそうです。ほかにも私たちの活動にすぐに役立つような本の持ち方や読み聞かせガイドブックなどもご紹介いただきました。

「手作りおもちゃ」では、『こぶたためききつねねこ』の工作を行いました。歌に合わせてお家を開いていくと、動物たちが家の窓から顔を出すという仕掛けです。歌に合わせてめくるのはなかなか難しいのですが、大型にしたり動物を変えたりと応用がきいて楽しそうです。

現在は、少子化が進む一方でベビーブームのような地区もあります。昨今話題になっている『孤育て』ではなく、楽しく『子育て』ができるようこれからも活動を続けていきたいと考えています。



どれも、すぐに使える実用的なことばかりでとても勉強になりました

地域のつながりを大切に
 民生委員・児童委員は
 今日も活動しています！

とつかハートプランマスコット
 「こころん」



誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる
 地域社会の実現のために

とつかハートプラン



戸塚区のマスコット
 ウアミー